

野史漫言昨日よりお入り
は出版の御祝と申すはめでよ

とりあへぬ

御高著を感謝いたします。

御惠贈の御著はよく拜見してと思ひますが、御受けのしる

しばかりにと思ひ立ちまして、このたびこんなものを刷ら

せましたから、失禮ながら差し出します。小生にまで御分

け下すつた御厚志のほど深く御禮申し上げます。

十日十四日

島崎生

馬場孤蝶兄